九州運輸局メールマガジン　平成 30 年 8 月 2 日　第 389 号
～運輸と観光で九州の元気を創ります～
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/
九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。
九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日（祝・祭日の場合は翌日）にお届けしています。
次回の定期発行日は平成 30 年 8 月 16 日（木）です。

■ 目 次

１　現場リポート
◆平成 30 年度夏季安全総点検を実施～フェリー・旅客船・海上タクシー59 隻に立入点検～
◆生き抜くためのサバイバルトレーニング～宮崎港で船員への生存対策講習会を開催～

２　お知らせ
◆平成 30 年度　九州運輸局管内整備管理者定期（選任後）研修の日程について
◆自動車事故対策費補助金の申請受付を開始～バス、タクシー、トラック運送事業者等の交通事故防止のための先進的な取組等を支援～
◆本物の列車や運転シミュレーターの体験開催～鉄道好きの小学生あつまれー！～

３　運輸安全推進室だより　Vol9
◆トップダウンだけではコミュニケーションは生まれない
～取組事例の紹介（自動車編）～

４　九州運輸局ホームページアップ情報
◆報道発表
◆お知らせ
◆更新情報

――― １　現場リポート ―――

◆平成 30 年度夏季安全総点検を実施
～フェリー・旅客船・海上タクシー59 隻に立入点検～

◎九州運輸局では、夏季多客期を前に、フェリー・旅客船等の事故未然防止を目的に、7 月 2 日（月）から 11 日（水）までの間、夏季安全総点検期間と位置づけ、期間中、九州運輸局・各運輸支局・各海事事務所においてフェリー・旅客船・海上タクシー５９隻に対し立入点検等を実施しました。今年は西日本豪雨や台風の影響で点検を中止・延期した事業者もありましたが概ね予定通り実施しました。
また、旅客航路事業者 159 社（者）に対し自主点検を実施するとともに輸送の安全確保の徹底について要請を行いました。

◇内容
・立入点検では、以下を重点点検項目と設定し、厳正に点検を実施するとともに運航事業者へは改めて安全運航に対する意識の高揚を促しました。
①航海当直体制や運航基準等の確実な遵守に向けた取組状況

②船舶機関の保守点検の強化及び安全対策の実施状況
③テロ防止のための警戒体制及びテロ発生時、その他事故・事件等発生時の乗客等の安全確保のための通報・連絡・指示体制の整備状況
④救命設備の備付けと迅速な利用の確保
⑤危険物運送の安全対策
・神湊港（福岡県宗像市）では7月4日に、高杉次長の総指揮のもと宗像市所属の「おおしま」(198トン)「しおかぜ」(87トン）に立ち入り、救命胴衣の保管状況や救命設備の保守状況等を重点に点検を実施しました。また、点検当日は経営トップである伊豆美沙子（いず　みさこ）宗像市長が点検に参加し、現場から経営トップまで一丸となって点検項目について点検を行い、安全意識の向上を図る良い機会となりました。

◇九州運輸局からのメッセージ
昨年度から海上タクシーについても立入検査を実施し、安全運航の一層の徹底を図りました。今後とも安全で安心な海上交通の確保に取り組んでまいります。

◇夏季安全総点検の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_389_1.pdf
---

◆生き抜くためのサバイバルトレーニング
　～宮崎港で船員への生存対策講習会を開催～

◎九州運輸局宮崎運輸支局では、船員災害防止協会及び同協会九州支部宮崎地区支部の共催、九州運輸局後援により、船員及び船舶所有者に対する安全衛生意識の高揚を目的とした「生存対策講習会」を7月13日(金)に宮崎港にて宮崎カーフェリー株式会社のみやざきエキスプレスの船内食堂で座学を、宮崎港岸壁で実技を開催し、船員、船舶所有者及び関係団体担当者等、計55人が参加しました。

◇内容
座学では、船員災害防止協会の安全管理士團野氏による「生き抜くために」の講義、宮崎運輸支局の古賀首席運輸企画専門官（運航労務監理官）による「退船時の対応」の講義がありました。
実技では、船員災害防止協会の技術講師関根氏による、膨脹式救命筏（いかだ）の投下・展張、離脱機の操作方法や救命筏への乗込み方法等の説明、岸壁より膨脹式救命筏を投下展張し、海上実技訓練要員による海中からの救命筏への乗込み及び反転した救命筏の復正方法等の訓練、救命筏艤装品（ぎそうひん）の使用方法等の説明、落下傘付信号及び信号紅炎（こうえん）等の取扱及び打上げ等訓練を行いました。信号等では、女子船員の積極的な参加もあり、「フネージョ」が期待される場面もありました。

◇九州運輸局からのメッセージ
今回参加した受講者からは、「日頃経験できない救命器具の操作を学ぶことができた。緊急時は慌ててうまく使用できないかもと心配であったが、今回の講習会で緊急時に慌てずに使用することができそう。」といった声が聞かれました。
九州運輸局では、今後も、関係機関及び関係者と連携し、船員災害防止の取組を進めて行きます。

◇宮崎港での生存対策講習会の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_389_2.pdf

――― ２　お知らせ ―――――――――――――――――――――――――――――――

◆平成 30 年度　九州運輸局管内整備管理者定期（選任後）研修の日程について

自動車運送事業者の整備管理者に選任されている方は、「整備管理者 定期 （選任後）研修」を 2 年に 1 度受講する必要があります。
九州運輸局では、「整備管理者 定期 研修」を実施しますので、研修受講対象者の方は受講忘れのないようにお願いします。
（7 月 25 日現在の情報を掲載します。）

詳しくは下記アドレスをご覧下さい。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/00001_00185.html

◆自動車事故対策費補助金の申請受付を開始
～バス、タクシー、トラック運送事業者等の交通事故防止のための先進的な取組等を支援～

国土交通省自動車局では、自動車運送事業における交通事故防止の観点から、先進安全自動車（ＡＳＶ）や運行管理の高度化に資する機器の導入等の取組を支援するため、要件を満たした事業者に対して自動車事故対策費補助金を交付する事故防止対策支援推進事業を実施しており、今般、その補助金の申請受付を平成 30 年 8 月 1 日より開始いたしました。

詳しくは下記アドレスをご覧下さい。
http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha02_hh_000350.html

◆本物の列車や運転シミュレーターの体験開催～鉄道好きの小学生あつまれー！～

10 月 14 日の「鉄道の日」を記念して、安全で便利で楽しい鉄道を実感してもらおうと毎年 10 月を「九州レイルマンス」として、期間中さまざまなイベントを開催しています。
「鉄道の日」九州実行委員会では、今年も小学生を対象として「列車運転体験」や「運転シミュレーター体験」を開催します。皆様の応募をお待ちしております。

詳しくは下記アドレスをご覧下さい。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/00001_00192.html

――― ３　**運輸安全推進室だより** ―――――――――――――――――――――――

・自動車モードは、他モードと比べて事故の発生が多い分だけ、取組の効果が見えやすいと言われています。今回は自動車モードのコミュニケーション取組事例を紹介します。
・省エネコンクールを兼ねた安全大会の開催
・家族取込み型
・リーダーの活用
◇図解入りの詳しい説明は下記をご覧ください。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_389_3.pdf

――― 4　九州運輸局ホームページアップ情報 ―――――――――――――

--- ◆報道発表 ----------

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#HOUDOU

--- ◆お知らせ ----------

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#OSIRASE

--- ◆更新情報 ----------

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN

企画競争実施公示

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html

/////// 編集部だより //

人間ドックを毎年受けておりますが、今年は悪いと指摘される項目が増えてしまいました。一念発起してウォーキングを開始してみました。普段近所を歩き回ることがないため、違った風景やお店、車で使えそうな抜け道など発見がいっぱいで、体だけでなく頭にも良い刺激が与えられ、ウォーキングが楽しみになっています。これで体の数値もよくなれば言うことはありません。目標は「秋」まで続けることですが、「飽き」ないよう色んなルートを開発している毎日です。

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。
編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

//

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm

■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

■九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

Mail: qst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp

Tel ： 092-472-2312　Fax ： 092-471-7192